

# 東京トレッキングクラブ

## T. T. C. 会 報 2022 年 2 月号

会長：飯田隆一

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

### 《 1 月の山行計画（追加） 》

No. 3, 685 船子尾根～刈寄山 <B> L 堀江 公

1月16日（日）武蔵五日市駅7時35分集合。（立川駅6時57分発～武蔵五日市駅7時34分着）バス藤倉行7時39分発。沢戸橋下車 沢戸橋－70分古愛宕山－80分刈寄山－80分今熊山－60分金剛の滝－60分武蔵五日市駅

歩程：5時間30分＋1時間20分……6時間50分

地図：2.5万図“五日市” 昭文社“奥多摩”

費用：約830円（立川駅起点 電車＋バス）

申し込み：1月14日（金）迄に電話、LINE、メール

備考：docomo メールの方はメール設定からPCメール拒否のチェックを外してください。

### 《 2 月の山行計画 》

No. 3, 686 蔵王坊平スノーシュー L 河野良子

スノーシューを付けて樹氷を眺めながら1歩1歩ゆっくりと！

1月31日（月）8：08東京発「つばさ127号」＝8：14上野＝8：34大宮＝10：55かみのやま温泉＝タクシーでペンション村「野口ペンション」山形県上市蔵王坊平高原 TEL023-679-2773 昼食後スノーシューを付けてクロカンコースをウォーミングアップ

2月1日(火) オーナーのガイドで刈田岳へ(リフト乗り継ぎます。昼食持参)。

2月2日(水) オーナーのガイドで巨木見学。宿に戻って昼食。16:00 ペンション村発シャトルバス(無料)、時間によってもう少し早いバスでも・・・  
=16:40 かみのやま温泉駅 17:40 「つばさ 154号」 =19:48 東京

費用: 約 35,000 円。ガイド料は別途料金となります。スノーシューはレンタル出来ます。

申し込み: 1月23日(日) までに電話、FAX, メールでリーダーへ。

備考: サブザック持参

No. 3, 687 <sup>せんじゅやま</sup>千手山から<sup>だん さ えもん</sup>弾左衛門ノ峰 <B> L 飯田隆一

2月11日(金) 7:50 JR高尾駅北口バス乗り場集合 高尾8:10(陣馬高原下行バス) = 8:25 大久保一(浄福寺を通り) 20分千手山(356.4m△) - 20分小津峠 - 50分力石峠 - 40分536m点 - 30分高留沢ノ頭(589m) - 25分鳥切場 - 15分弾左衛門ノ峰 - 25分495mを通り 81号鉄塔 - 30分西ゲイト沢橋 - 25分関場バス停

歩程: 4時間40分 + 1時間30分・・・6時間10分

地図: “五日市、与瀬、八王子、拝島“

費用: 約 2,500 円

申し込み: 2月9日(水) までにメールまたはショートメールでリーダーへ。

備考: 高尾駅のバス乗り場は混雑しますので早目に来て下さい。軽アイゼン持参。松浦著「バリエーションルートを楽しむ」P87 参照

No. 3, 688 高峰高原(高峰山、水ノ塔山) スノーシュー <B>  
L 佐藤ツヤ子

スノーシューで雪山を登り、温泉で疲れを癒してのんびりしましょう。

2月14日(月) 北陸新幹線佐久平駅 8:20 集合(6:52 東京 = 6:58 上野 = 7:17 大宮 = 8:15 佐久平、あさま 601号が便利) 8:25 バス = 9:30 アサマ 2000 スキー場(宿の雪上車で宿へ)。宿に到着後スノーシューで高峰山往復(休憩込みで3時間~3時間30分、頂上で昼食の予定)

2月15日(火) 水ノ塔山往復。約4時間(天候と雪の状況により途中迄の事あり) 9時頃から14時頃まで行動。復路: 宿の雪上車 16:00 = アサマ 2000 スキー場バス 16:17 発

地図: 昭文社 “浅間山”

費用: 約 28,000 円(ジパング使用)

**申し込み**：1月13日（木）（宿の関係で早まりました）までに電話、Cメールでリーダーへ。

**備考**：Lは大宮から乗車します。ランプの宿、高峰高原（TEL0267-25-2000）は標高2000mに建つ宿で野鳥教室、自然観察、星の観察会など楽しみが沢山ありますので、温泉を楽しむだけの参加もOKです。尚、スノーシュー装備一式は無料で借りる事が出来ますので冬山装備と登山靴で参加して下さい。昼食は持参して下さい。

**No. 3, 689 丹沢 シダゴ山・高松山 <B> L 村田秀也**

**2月20日（日）** 集合：新松田駅 7:45 7:55 発 寄行きバスに乗ります。  
寄-80分シダゴ山-ダルマ沢の頭-新秦野線 29号鉄塔-西ケ尾-高松山-山北駅

**歩程**：6時間25分+1時間30分……7時間55分

**地図**：昭文社“丹沢”

**費用**：新宿から往復約3,000円

**申し込み**：2月17日までに村田まで電話かショートメールで

**備考**：下山時刻で高松山入口バス停から新松田までバスに乗るか、山北駅まで歩きます。歩程は山北駅まで歩いた場合の時間です。

**No. 3, 690 志賀高原スキー L 飯田隆一**

**2月21日（月）** 長野駅改札口 8:45 集合（7:20 東京発北陸新幹線かがやき503号金沢行、全指定=上野 7:26=大宮 7:46=8:42 長野） 9:00（バス）=10:28 一の瀬 宿で支度後午後から滑走。宿「ホテルむつみ」（TEL0269-34-2706）1泊2食 9600円

**2月22日（火）～～23日（水）** 午前中まで滑走 午後のバスで帰路につく。

**費用**：約40,000円+リフト代（東京-長野 8340\*2=16680円、バス 2000\*2=4000円、宿 9600\*2=19200円）

**申し込み**：2月13日（日）までにメールまたはショートメールでリーダーへ。

**備考**：スキー用具を送付する人の宛先 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町 志賀高原一の瀬 高原リゾートホテルむつみ

**No. 3, 691 関東平野を望む筑波山へ <B> L 飯島正子**

**2月26日（土）** 筑波山神社入口バス停 9:10 集合（7:30 秋葉原発つくばエクスプレス快速つくば行=8:15 着 つくばセンターバス 8:30 発=筑波山神社

入口 9 : 06 着) 1 時間 10 分中の茶屋跡-50 分御幸ヶ原-20 分男体山-15 分御幸ヶ原-20 分女体山-40 分弁慶茶屋跡- 1 時間 20 分筑波山社入口バス停、バスでつくば駅へバス時間 15 : 10、15 : 40、16 : 10、16 : 40

歩程 : 4 時間 55 分+1 時間……5 時間 55 分

地図 : 昭文社 “筑波”

費用 : 約 4,000 円

申し込み : 2 月 24 日 (木) までにメールまたはショートメールでリーダーへ

備考 : 天気によっては日曜日にしたいと思います

### No. 3, 692 天王山～堂所山 <C> L 堅田秀子

コロナで中止になった山行です。今回は……。

2 月 27 日 (日) 橋本駅バス停③ 9 : 20 集合 (JR 八王子 8 : 56 横浜線快速大船行 = 9 : 08 橋本) 橋本駅バス停③番 9 : 32 新小倉橋・金原経由三ヶ木行バス = 10 : 03 串川グランド前 (WC) 10 : 15-40 分天王山 (321m) -15 分雨乞山分岐 -25 分雨乞山 (320m) -20 分分岐-25 分宮標石-25 分平代山 (405m) -20 分宮標石-10 分堂所山-15 分鉄塔-30 分監視所山-15 分津久井バス停 = 30 分位で橋本駅へ。

歩程 : 4 時間+1 時間 30 分……5 時間 30 分

地図 : 2.5 万図 “上溝”

費用 : 1,000 円位

申し込み : 2 月 25 日 (金) までにメール、電話で。

備考 : 8000 分の 1 の地図のコピーがあります。希望者は申し込みの時に連絡下さい。

## 《 11 月の山行報告 》

### No. 3, 665 三頭山 <C>

パーティー : 女性 6 名

11 月 2 日 (火) 晴。本来のリーダー菊地さんが体調不良のため (腰痛) 急遽リーダーを頼まれ実施することになりました。五日市駅前のバス停で菊地さんの見送りとおやつの差し入れを頂き予定のバスに乗る。平日にも拘わらずバスは満員でしたが我々は席を確保することが出来た。終点の都民の森から歩き出し、森林

館を右に見て舗装された道を登り、鞆口峠を経て、やや急な登りがしばらく続く。展望台のある三頭山東峰からは雲が広がり展望が得られないので足を進める。テーブル付きのベンチのある次のピークは昼食をとる人でいっぱいなので更に先へと進み三頭山の主峰である西峰でランチタイムをする。本来なら富士山を望める筈なのに今日は雲の中。下山は階段をぐんぐん下ってムシカリ峠から三頭大滝へと沢ぞいの道を進む。山中の紅葉は終りかけていたが、最後の三頭大滝の紅葉は丁度見頃ですばらしく満足出来、今日一番の御褒美でした。今日は少人数で足並も揃い予定より早くバス停に着き解散しました。参加者の皆さんお疲れ様でした。

9:50 都民の森-10:30 鞆口峠-11:40 三頭山(昼食) 12:20-13:10 三頭大滝 13:20-13:40 バス停(解散) (佐藤ツ 記)

### No. 3, 666 黒川鶏冠山 <C>

パーティー：女性7名／男性1名 計8名

11月6日(土) 晴。秋の盛りは過ぎていましたが、秋の名残と苔の美しさに目を奪われた穏やかな1日でした。すぐそばの大菩薩はすごい人出でしょうが、黒川鶏冠山は十数組がくつろぐ静かな山でした。水道巡視道は歩きやすく、岩っぽい鶏冠山はちょっとスリルがあり、移り行く季節を感じた山行でした。

柳沢峠 9:40-六本木峠 10:35-11:05 横手峠 11:15-11:55 黒川山見晴台 12:30-13:30 鶏冠神社 13:35-ハンノキ尾根経由 15:05 落合 (瀬川 記)

### No. 3, 667 刈場坂山(ツツジ山) <B>

パーティー：女性4名／男性4名 計8名

11月7日(日) 晴。コロナ感染者激減のなか、正丸駅も最近としては珍しく人が多かった。ほとんどは伊豆ヶ岳へ行くのであろうか、我々の方向へは誰も行かない。

駅から5分程の石段が今日のとりつきだ。余り人が入らないようで、踏み跡も定かでなく藪をかきわけ登高した。やっと踏み跡が出てきて、林道を2つ横切り尾根に巡り着いた。進路を北にとり、ひたすら尾根をアップダウンし最後の長い登りを終ると小ツツジ山だった。次のピークも木片に小ツツジ山と書かれていた。また少し下り登るとやっと本当のツツジ山に着いた。これが刈場坂山である。

長い休憩の後、正丸駅へ長い国道歩きはつまらないと予定を変更して大野峠まで歩くことにした。この道は自然林の中を適度な登り下りで、途中で岩場も通過する楽しい道だ。歩いている中に以前歩いた記憶がよみがえったが定かでなく、昨日の認知能力検査84点もあてにならない。大野峠からはいい道ががが下り、予定していた時間よりも早く芦ヶ久保駅に着いた。

正丸駅 9:20ー石段とりつき 9:30ー尾根分岐 10:20ー三田久保峠 10:50ー峠  
ノクボ 11:20ー小ツツジ山 12:00ー刈場坂山（ツツジ山） 12:15～40ー刈場坂峠  
13:00ー大野峠 14:00ー国道 15:15ー芦ヶ久保駅 15:45 （五十嵐 記）

### No. 3, 668 城山（高尾）から大平林道を歩く

パーティー：女性 8 名／男性 2 名 計 10 名

11 月 13 日（土）晴。東尾根コースは人が少なく、気持ちよく歩ける。城山では、人が多いが富士山がクッキリきれいに見える。大垂水峠の方へ下ると、林道へのコースには立入禁止の黄テープがある。林道終止の所までは狭く、足元がゆるい感じのトラバースの道である。少し荒れた林道を進み大垂水峠から上がってくる道との出会いまで来る。案内板には、モミジ平方面には通行不可が 2 か所ある。コースを変更し、展望台方向へ登る。メインコースに出ると、混雑した様子。下山予定コースも人々でいっぱいなので、直接いろはの森へ下ることにする。下りは殆んど人もいなく一気に林道まで下る。コース変更のご協力いただきありがとうございます。

日影バス停 9:20ー城山 11:05ー展望台 13:50ー日影バス停 15:23 （堅田 記）

### No. 3, 669 武甲山 < B >

パーティー：女性 10 名／男性 2 名 計 12 名

11 月 14 日（日）晴。横瀬駅に集合してタクシーで生川一の鳥居に向かいます。簡易舗装の林道をしばらく歩きますが、結果的にここが一番きつかったです。歩き出しに加え意外に急な道だからです。水場と大杉がある大杉の広場を通る登山道ですが、全く景色の見えるところもなく 1 丁目から 49 丁目までの石柱が無ければひたすら辛抱だけの登りです。49 丁目を過ぎて緩斜面の広いところに出ると山頂の一角で、登山者がたくさんいて昼食など取っています。山頂は想像していたより狭く、直ぐ下が削り取られた柵からは景色が良い。

山頂部は神社の敷地みたいな感じなので、神社下で昼食。御朱印をもらう人もいて揃わなかったのが、食事後みんなで山頂へ向かい記念写真。

下山は陽が当たり長沢背稜・両神山を見ながら浦山口を目指します。急なつづら折りを下りきると林道に出て 1 時間ほどで浦山口駅に着きました。

生川一の鳥居 9:15ー武甲山 11:50～12:40ー浦山口 15:05 （村田 記）

### No. 3, 670 金時山 < B >

パーティー：女性5名／男性4名 計9名

11月20日(土)晴 仙石バス停で集合して30分車道を歩き、公時神社でこれから登る金時山の容姿を仰ぎ安全登山を祈願して、檜に囲まれた登山道を進む。大小の岩が転がるが、道は整備されており、人気の山なので行きかう人も多い。金時宿り石という大きな岩を見ながら脇を急登し、そして平坦な道と登りをくりかえす。遠くには明神ヶ岳が見え、箱根の山々、さらに大涌谷や神山と視界が開けてくる。ブナ林を急登すると金時山の山頂に出る。目の前に雪をいただいた美しい日本一の富士山が迎えてくれた。富士山を見ながらのぜいたくな昼食を終え、下山は乙女峠方向に向かって永尾山を越える尾根道を下る。「乙女の祈り」のピアノ曲を加瀬さんが口ずさんでくださり、それを聞きながら乙女のような気持ちになって登山口におりてきた。車道を歩いて朝の仙石バス停で解散。美しい紅葉に恵まれて楽しい山旅でした。ありがとうございました。

仙石バス停 8:51 - 公時神社 9:35 - 金時山 (昼食) 11:20 ~ 55 - 長尾山 12:45 - 乙女口 14:00 - 仙石バス停 15:20 (記 飯島)

### No. 3, 671 御正体山 < B >

パーティー：女性3名／男性2名 計5名

11月23日(火・祝)晴。都留市駅前には登山者とゴルファーが多く降り立った。ほとんどはタクシーで出かけたので我々もタクシーで行くことにした。ここでリーダーの私を考えを変え道坂トンネルから登ることにした。何回も登っている道なのに最近の集中豪雨の影響と思うが登山道が流されてなくなっていた。直登したが、後から思うともっと左の方を探せば登山道の残りを見つけれられたかもしれないと反省をした。尾根筋に出るとあとは普通の登山道である。少しずつ高度を上げながら小さなピークを越していった。やっと一等三角点のある頂上に着いた。登山者が多くいると思ったが誰も居ない。多くの人がある山なのに今日はどうしたのだろうか。南方向に進路を取り高度を下げている。奥ノ岳でタクシー会社に電話をかけて下り、山伏峠トンネルのところでタクシーに乗り富士山駅に向かった。肝心の富士山は行きは電車と帰りはタクシーでよく見えたが山では雲の中であった。富士山駅ホームからの富士山は絶景であった。

トンネル出口 9:30 - 尾根筋 10:15 - 道坂三角点 (1228m) 10:20 - 岩下ノ丸 (△ 1303.9m) 11:05 - 牧ノ沢山 (1280m) - 御正体山 12:20 ~ 30 - 前ノ岳 (1471m) 14:00 - 中ノ岳 (1441m) 14:30 - 奥ノ岳 15:20 - 山伏峠 16:10 (飯田 記)

No. 3672 富士を見ながら東海自然歩道を歩く < B >

パーティー：女性2名

11月25日(木)晴。河口湖駅から富士宮行きのバスに乗り、道の駅「朝霧高原」で降りました。道はほぼ平坦で牧場・キャンプ場・湿原・の横や杉林の中を歩きます。東海自然歩道の標識が的確に歩く方向を示してくれます。ただ困ったことに標識に記載されている距離や時間がばらばらで、急に歩く時間が増えたりしました。でも苦笑しつつ歩くのには支障ありません。富士が1日中私たちを見守ってくれていました。到着した休暇村「富士」は田貫湖と富士が真正面に対峙し「赤富士」をばっちり楽しみました。夕食は駿河湾で捕れたしらすや桜エビが食べ放題で満足な夜でした。



10：00 道の駅「朝霧高原」－11：40 麓のつり橋 12：00－13：10 陣馬の滝 13：25－15：00 休暇村「富士」



11月26日(金)晴。この日も晴天。休暇村の裏手の登山道を登り、しばらく登ると長者ヶ岳の稜線の登山道と合流します。登りやすい道が長者ヶ岳まで続いています。長者ヶ岳からも富士が真正面。2日間とも幸運の一語。長者ヶ岳からコルへ一旦下ります。ここには山梨県側に下る東海自然歩道が分岐していましたが、道は良くない印象でした。東海自然歩道から分かれ天子ヶ岳へ。広い山頂でした。山頂直下から石交じりの急坂が30分ほど続きます。肝を冷やす急坂の下りでした。あとは長い樹林の尾根道が山麓まで続いています。

す。やっと白糸の滝で今日の山行を終了しました。

8：30 休暇村「富士」－9：35 長者ヶ岳登山道合流 9：40－11：00 長者ヶ岳



11：20－12：15 天子ヶ岳 12：40－15：20 佐折分岐 15：25－16：10 白糸の滝入口  
バス停 (瀬川 記)

## No. 3673 真名井北稜 <A>

パーティー：女性6名／男性2名 計8名

11月28日(日)晴 計画の電車だとバス乗り継ぎに余裕がないので、1本早く乗車してもらい川井駅に集合。気温が低く風があると寒い。

バス停が移動されていて信号待ちが必要になった。余裕でバスに乗車し上日向で降り、真名井橋を渡り北稜の取り付けから歩きだす。尾根まで急登だが寒いのでちょうど良い。北稜は途中まで送電線の巡視路が通り、はっきりした登路だが上部ではやや不明瞭だ。雲一つ無い青空で、振り返れば光り輝く相模湾が見えて気持ち良い。1,002mピーク直下の急登は、落葉で滑りやすい斜面を両手を使い登る。1,168mのピークまでは尾根が痩せたりし慎重に歩く。春にはアカヤシオが楽しめる。ピーク直下はやはり急登で滑りやすい。真名井沢の峰1,270mまでは尾根が広くなり、メリハリがあって楽しく歩ける。赤杭尾根合流点には、ほぼ予定通りに着き昼食とした。赤杭尾根を古里駅へと進むが単調で長い。淡々と赤久奈山も通過し、サス尾根へと進入する。バリエーションらしく藪に突入し、滑りやすい斜面を下り神社から車道にでる。古里駅には計画どおりに着き解散とした。

上日向 330m 7：40－710mピーク 8：50－1002mピーク 10：05－1168mピーク 10：55－真名井沢の峰 1270m 11：15－赤久奈山 12：48－古里駅 14：40  
(堀江 記)

## 《 役員会だより 》

- 1) 会則等の変更について毎月検討会を開いています。ホームページに会則を掲載するのは良いが細則、内規の掲載はやめることに決定した。
- 2) ホームページに写真を掲載する際は個人情報保護の観点から人物の顔がわからないようにしたほうが良いということになりました。
- 3) TTC創立50周年記念としてバンダナを会員に配ることになったので、

その作成会社としてのぐちしょうてん又は（株）スズキネの2社を候補として選んだ。デザイン担当は佐藤ツヤ子さんに決定。

- 4) 山行でタクシーを使用する場合で申込期限締切後タクシーに余裕がある場合、リーダーの判断でホームページで申込者を募る事ができる。とした。

## 《 お 知 ら せ 》

☆ 次の方が入会しました。

No. 616 渡邊悦子

No. 617 大矢美香

☆ **No. 3, 682 グレンドスキー妙高赤倉**の申し込み期日は1月10日（月）です。

☆ 2月の役員会は2月2日（水）練馬区役所 1905室 17:00～19:00です。

☆ 3月の山行計画及び山行報告を1月31日（月）までに飯田まで提出してください。